

サポーターズカンファレンス議事録

日時：2022年2月17日（木）19:00～20:30

形式：Zoomでのオンライン形式

出席：(株)いわてアスリートクラブ	代表取締役社長	坂本 達朗
	代表取締役副社長	中村 文哉
	取締役商品部部長	勝田麻記子
	ジェネラルマネージャー	菊池 利三
	育成部長	中村 学

内容：昨シーズンの振り返り
今シーズンの展望
事前質問に対する回答

【開会のご挨拶】

それでは時間になりましたので、いわてグルージャ盛岡サポーターズカンファレンスを開催させていただきます。この度はお忙しいところご視聴をいただきまして誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年につき、誠に勝手ながらリモートでの開催とさせていただきます。ご不便をおかけいたしますが、スムーズな会の進行へのご協力をお願いいたします。

なお、今回の内容につきましては本会終了後に議事録にて公開をいたしますが、情報の取り扱いには十分ご留意くださいますようお願い申し上げます。

また、メディア様等で、本情報の転載や展開をご希望の方におかれましては、必ず弊社クラブ広報担当へ事前のご連絡をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日の内容は、レコーディングさせていただきますので、ご了承ください。（レコーディングを開始）

【2021 シーズン TOP チーム振り返り】（菊池利三）

皆様、こんばんは。今シーズンもいわてグルージャ盛岡のジェネラルマネージャーとして活動させていただきます菊池利三と申します。よろしくお願い申し上げます。

2021 シーズンは、J3 優勝 J2 昇格という目標を掲げて、秋田監督 2 年目を闘ってまいりました。2021 シーズンは、2020 シーズン終盤から継続してきた安定した守備というところをベースに、大崩れすることなく戦うことができ、その結果が J2 昇格に繋がったのではないかと考えております。昨年度は、大卒ルーキーをはじめ多くの選手がピッチに立ち、常にコンディションの良い選手が試合のピッチに出ていくという、競争原理の考えのもと切磋

琢磨しながら、チーム力が高まった結果と思っております。

但し、もう1つの目標でありましたJ3優勝には届きませんでした。そこにやはり課題があると感じております。ゲームを重ねていく上での質というもの、1本のシュートだったり1本のパスだったり球際の質だったり1回の攻撃・ワンプレーの質、そういったものを高めていくことの大事さを痛感させられたシーズンでした。ラストマッチ、昇格を決めたゲームがそれをものすごく物語っていた印象があります。結果自体は引き分けでしたが、ゲームの内容ではやはり、選手たちのメンタル面、プレッシャーのかかる中でのプレーの質といったところが、あと1点・あと一歩、相手よりも多く・より強く出しきれなかったことが、J3優勝を逃した結果と捉えております。

しかし、当初より昇格を目標に掲げておりましたので、これも皆様の応援のおかげと思っております。これまでグルージャを応援していただいたファンサポーターの皆様・スポンサー企業様・支援者の皆様・スタッフ、歴代のグルージャに関わってきた選手たち・そして監督たちに心から感謝したいと思っております。本当に昨シーズンはありがとうございました。

2021年度 目標

- ◇ J2昇格
- ◇ J3リーグ優勝

結果

J3リーグ

- 勝ち 15勝
- 分け 8分
- 負け 5敗

天皇杯

- 1回戦 13-0 大山クラブ
- 2回戦 1-0 ベガルタ仙台
- 3回戦 1-2 清水エスパルス

順位	クラブ名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	ロアッソ熊本	54	28	15	9	4	39	20	19
2	いわてグルージャ盛岡	53	28	15	8	5	43	28	15
3	デグバ(ビヤード)宮崎	53	28	16	5	7	44	31	13
4	カターレ富山	46	28	13	7	8	40	34	6
5	福岡ユナイテッドF.C.	45	28	13	6	9	41	32	9
6	F.C.岐阜	41	28	12	5	11	38	35	3
7	鹿児島ユナイテッドF.C.	40	28	11	7	10	34	35	-1
8	Y. S. C. C. 横浜	40	28	11	7	10	31	33	-2
9	A.C.長野パルセイロ	36	28	8	12	8	35	28	7
10	藤枝MYFC	32	28	8	8	12	42	42	0
11	F.C.今治	30	28	7	9	12	34	33	1
12	Gainare福岡	29	28	9	2	17	36	53	-17
13	ヴァンラーレ八戸	29	28	7	8	13	24	44	-20
14	アスルクラロ線原	27	28	7	6	15	32	44	-12
15	カマタマーレ讃岐	21	28	4	9	15	20	41	-21

【2021 シーズン アカデミー振り返り】(中村 学)

皆様、おぼんでございます。いわてグルージャ盛岡育成部長の中村と申します。

常日頃から、TOP チーム同様、アカデミーにもたくさんのご声援・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。私からは、2021 シーズンの育成部(普及部、アカデミー)の報告をさせていただきます。

始めにユースに関してとなります。ユースは本間圭監督を中心として2021 シーズンは3つの主要大会に取り組んでまいりました。保護者の方をはじめ、多くの方々にご協力を賜

2021年いわてグルージャ盛岡ジュニアユース

- スタッフ：蓮見知弘/安楽健太/畠山涼 合計 3名
- 選手：1年生 17名/2年生 18名/3年生 11名 合計 46名
- 大会実績
 - ・高円宮杯JFA全日本U-15サッカー選手権東北みちのくリーグチャレンジ北 **8位**
 - ・2021 JリーグU-14ポラリスリーグ **6位**
 - ・東北U-13みちのくリーグ 北リーグ **8位**
 - ・第36回全日本クラブユースサッカー選手権（U-15）岩手県大会 **5位**
 - ・高円宮杯JFA第33回全日本U-15サッカー選手権大会東北プレーオフ **1回戦敗退**
 - ・第28回岩手県クラブユースサッカー連盟（U-15）新人大会 **5位**

最後に、ジュニアについてとなります。

ジュニアは「2021 in 岩手県トップリーグ」で6位となりましたが、優勝を目標に掲げておりました「U-12サッカー選手権岩手県大会」では、ベスト8という結果でございました。

その他の試合の多くも、新人戦も含め「決勝リーグで敗退」する大会が多くございましたので、ジュニアにおいても2022シーズンに向けて、たくさんの修正・課題解決、そしてスタッフの指導力向上にも取り組み、2022シーズンをしっかりと闘ってまいりたいと思います。引き続き、ご支援・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

2021年いわてグルージャ盛岡ジュニア

- スタッフ：内田正樹/本田聡太郎 合計 2名
- 選手：3年生 8名/4年生 6名/5年生 8名/6年生 15名 37名
- 大会実績
 - ・第31回全日本U-12フットサル選手権盛岡予選 **予選リーグ敗退**
 - ・2021 in 岩手県U-10（MORITENリーグ） **5位**
 - ・2021 in 岩手県トップリーグ **6位**
 - ・第48回岩手県サッカースポーツ少年団大会（スタンダード杯） **2位トーナメント 3位**
 - ・第45回全日本U-12サッカー選手権大会岩手県大会 **ベスト8**
 - ・JAバンクカップ第39回岩手県U-11サッカー新人大会 **決勝リーグ 敗退**

【2021 シーズン フロント振り返り】(坂本達朗)

代表取締役社長の坂本でございます。昨シーズンは皆様の熱い応援、本当にありがとうございました。おかげさまで、念願の J2 昇格を果たすことができました。これもひとえに皆様方の応援のおかげと感謝申し上げます。先ほども申し上げておりますように J3 リーグで 2 位となり、J2 昇格を果たすことができました。

入場者数も合計で 19,516 名、平均で 1,394 名と、一昨年のシーズン平均 512 名よりも 3 倍近い観客を動員することができました。皆様本当にありがとうございました。

リーグ戦の結果につきましてはご覧の通りでございます。後半戦は宮崎に 1 敗のみと、本当に尻上がりに勝ち点を伸ばし、最終的に 2 位という結果に至りました。

2021 明治安田生命 J3 リーグ いわてグルージャ盛岡 ホームゲーム結果

【ホームゲーム動員数】

シーズン	総動員数	平均動員数	順位	天皇杯	監督
2021	19,516	1,394	2位	3回戦	秋田 豊
2020	8,184	512	11位	—	秋田 豊
2019	23,240	1,368	18位	2回戦	菊池利三

【ホームゲーム結果】

2021年	対戦チーム	結果	会場	入場者数
3/28(日)	長野	△0-0	いわスタ	1,058
4/3(土)	今治	○3-2	いわスタ	810
5/2(日)	鹿児島	○2-1	いわスタ	824
5/16(日)	岐阜	●0-2	いわスタ	1,007
6/6(日)	藤枝	○4-0	いわスタ	1,785
6/19(土)	沼津	○3-2	いわスタ	900
6/26(土)	横浜	●0-2	いわスタ	1,403
8/28(土)	八戸	○3-2	いわスタ	1,302
9/19(日)	宮崎	●0-1	いわスタ	1,637
10/9(土)	鳥取	○2-1	いわスタ	2,003
10/30(土)	福島	○2-1	いわスタ	1,134
11/7(日)	熊本	△0-0	北上	1,609
11/21(日)	讃岐	○3-1	北上	1,783
11/28(日)	富山	○1-0	いわスタ	2,453
	合計			19,516
	平均			1,394
	目標値			2,000

2020年	対戦チーム	結果	会場	入場者数
6/27(土)	秋田	●0-4	いわスタ	無観客
7/15(水)	藤枝	●1-3	北上	101
7/19(日)	富山	●1-4	北上	292
8/2(日)	G大阪	○3-1	北上	294
8/16(日)	長野	●1-4	いわスタ	516
8/29(土)	今治	●0-1	いわスタ	607
9/6(日)	鳥取	○2-0	北上	372
9/12(土)	横浜	●1-3	いわスタ	565
9/22(火)	G大阪	○1-0	いわスタ	669
10/7(水)	讃岐	△1-1	いわスタ	279
10/11(日)	沼津	○1-0	北上	634
10/25(日)	岐阜	●0-4	北上	402
11/3(火)	福島	○2-1	北上	402
11/8(日)	八戸	△1-1	北上	725
11/18(水)	相模原	○1-0	いわスタ	384
11/29(日)	鹿児島	●0-1	北上	918
12/5(土)	鹿児島	△2-2	いわスタ	1,024
	合計			8,184
	平均			512

天皇杯につきましても、1 回戦大山サッカークラブに 13 対 0、2 回戦 J1 ベガルタ仙台に 1 対 0 で勝利しました。3 回戦では、いわぎんスタジアムに清水エスパルスを迎え、前半は 1 対 0 で勝っておりましたが、最終的には 1 対 2 で惜しくも負けてしまいました。

このような闘いを、今シーズン J2 リーグでもできればと思っております。

天皇杯 JFA 第 101回全日本サッカー選手権大会結果

- 1回戦 vs 大山サッカークラブ ○13-0
- 2回戦 vs ベガルタ仙台 ○1-0
- 3回戦 vs 清水エスパルス ●1-2

2021.05.24

いわてグルージャ盛岡、初戦圧勝 サッカー天皇杯



サッカーの第101回天皇杯全日本選手権（日本サッカー協会、Jリーグ主催、共同通信社、NHK共催）第2日は23日、盛岡市のいわぎんスタジアムなどで1回戦の残り13試合が行われた。本県代表のJ3いわてグルージャ盛岡（2年ぶり14度目）は東北社会人2部の大山クラブ（山形代表、2年連続2度目）に13-0で圧勝し、2年ぶりに初戦を突破した。

2回戦は6月9、16日に行われ、グルージャは9日にユアテックスタジアム仙台でJ1仙台と対戦する。

サッカー-大山クラブ 前半14分、後半のMF増田雅也（14）が右足を振り抜き、先制ゴールを決める。盛岡市-いわぎんスタジアム

2021.06.10

グルージャ、J1仙台を撃破 サッカー天皇杯



【仙台支社】サッカーの第101回天皇杯全日本選手権（日本サッカー協会、Jリーグ主催、共同通信社、NHK共催）2回戦は9日、仙台市のユアテックスタジアム仙台などで行われ、本県代表のJ3いわてグルージャ盛岡（2年ぶり14度目出場）が、J1仙台に1-0で勝利した。グルージャがJ1のチームを下すのは、仙台に勝った2016年以来5年ぶり。

3回戦は7月7日に行われ、J1清水と対戦する（会場未定）。

サッカー-2回戦でJ1仙台に1-0で勝利し、重宝いわてグルージャ盛岡の選手たち。9日、仙台市・ユアテックスタジアム仙台

出典：岩手日報WEB版

2021.07.08

グルージャ、J1清水に惜敗 サッカー天皇杯、4回戦進出逃す



サッカーの第101回天皇杯全日本選手権（日本サッカー協会、Jリーグ主催、共同通信社、NHK共催）は7日、盛岡市のいわぎんスタジアムなどで3回戦12試合を行い、本県代表のJ3いわてグルージャ盛岡（2年ぶり14度目）はJ1清水に1-2で敗れ、優勝初めの4回戦進出を逃した。

グルージャは前半38分、MF加々美豊生が右サイドからゴール前に切り込み、先制ゴールを挙げた。後半9分に清水のFW西園洋史が同点ゴール、38分にはMF滝崎太にゴールネットを揺らされ、勝ち越しを許した。

サッカー-清水 前半38分、後半のMF加々美豊生（右から2人目）が前半選手をかわし、先制ゴールを決める。盛岡市-いわぎんスタジアム

最終戦は、12月5日沼津にて、結果としては引き分けで終わりましたが、J2昇格を決定した時の写真でございます。岩手県からもたくさんのファン・サポーターの皆様にご会場に駆けつけていただき、本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。



(中村文哉)

遅くにご参加いただきありがとうございます。また、昨シーズンから応援をいただき誠にありがとうございます。多くの感動する瞬間を今年も皆様と味わっていただければと思っておりますので、2022シーズンもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2021シーズン、冠試合の開催につきましては、表示の通りとなっております。盛り上げ

ていただいた多くの企業様に心から感謝の意を表したいと思います。本当にありがとうございました。

2021シーズン冠試合の開催

多くの企業の皆様にご来場を盛り上げていただきました。

試合日	対戦	会場	冠企業	実施内容
3/28	AC長野パルセイロ	いわぎん	パワーエレクトロニクス	いわてブルージャズ埼玉 公式応援マネージャー 工藤きづなさん 就任式 紙面マッチデープログラム配布
6/6	藤枝MYFC	いわぎん	岩館電機株式会社 NECネットエスアイ	いわぎんスタジアム 照明点灯式
6/19	アスルクラロ沼津	いわぎん	株式会社みちのくボタ	農耕車展示の展示
10/9	ガイナレ鳥取	いわぎん	NOVA	NOVAうさぎ×キツルのPK対決
10/30	福島ユナイテッドFC	いわぎん	明治安田生命	サッカー教室の実施
11/7	ロアッソ熊本	北上	カローラ自動車	カローラクロス展示 紙面マッチデープログラム配布
11/21	カマタマーレ讃岐	北上	明治安田生命	Jリーグウォーキング実施 紙面マッチデープログラム配布
11/28	カターレ富山	いわぎん	岩泉のむぎヨーグルト 岩手県グループ	岩泉のむぎヨーグルト来場者プレゼント、岩手県マスコットそばっちょ登場 紙面マッチデープログラム配布

この中でも特に、ご来場いただいたお客様が多かったのは、6月6日岩館電機株式会社様・NEC ネットエスアイ様ご冠のいわぎんスタジアム照明点灯式で、いわぎんスタジアムに初めて照明がついたということもあり、この日は非常に多くのお客様にご来場いただきました。当日はまだ日没時間の関係から暗くなるのが遅く、照明の明るさははっきりと確認しきれませんでした。2~3試合後には照明がまぶしく輝き、その中で多くの方々にサッカーを観戦いただけたことは、本当に感動的でした。

2022シーズンにおきましても、多くの冠試合を開催し、企業様とともに、ホームゲームを盛り上げてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくご来場をお願いします。

いわぎんスタジアムへの照明の具備・ナイターゲームの開催



また、実施しました企画イベントも表示の通りとなっております。

2021シーズンイベントの実施

「サッカー以外にも楽しめる企画」を打ち出して参りました。

試合日	対戦	会場	イベント内容
8/28	ヴァンラーレ八戸	いわぎん	打ち上げ花火
9/19	テゲバジャーロ宮崎	いわぎん	レジェンドマッチ、盛岡商業高校サッカー部OB×遠野高校サッカー部OB、打ち上げ花火
10/9	ガイナレ鳥取	いわぎん	J-OBサッカークリニック、頑張ろういわてスペシャルマッチ、打ち上げ花火
11/7	ロアッソ熊本	北上	岩手選抜60×岩手60 SIXTIE'S CUP in KITAKAMI
11/21	カマタマーレ讃岐	北上	U-9グルージャ杯、小松彩夏さん来場
11/28	カターレ富山	いわぎん	第2回フレンドリーマッチ、DSA×愛知発掘プロジェクト×いわてグルージャ盛岡アカデミージュニア



この中で特にお客様に多くお越しいただいたのが10月9日の「東日本大震災から復興10年、頑張ろういわてスペシャルマッチ、いわてを元気に！子どもたちに笑顔を！」というイベントでございました。



当日はレジェンド OB によるフットボールクリニックを行い、多くの子どもたちが夢に自分を重ねることができたのではないかと考えております。そしてレジェンド OB と岩手県の中学生選抜の試合、その後、明治安田生命 J3 リーグ第 22 節いわてグルージャ盛岡対ガイナレ鳥取、そして最後に打ち上げ花火で締めくくりとなりました。この日は非常に盛り上がりを見せた 1 日となりました。



2022 シーズンにおきましても、皆様に喜んでいただけるようなイベントを企画・実施していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

続きまして、地域に寄り添うホームタウン活動につきまして、坂本よりご報告申し上げます。

す。

(坂本達朗)

ホームタウン活動につきましてご報告させていただきます。

2021 シーズンは、「グルージャ塾」「幼稚園や保育園巡回」「夢パス」「ゴミゼロプロジェクト」「グルージャこども食堂」「高齢者健康づくり教室」等々、たくさんの企画を実施してまいりました。

特にゴミゼロプロジェクトでは、スタジアムから出るゴミを少しでも減らしたいという思いから、試合で出た飲食容器をたい肥化し、できたたい肥をグルージャ米プロジェクトにて使用、そうして収穫したお米をこども食堂で活用する、という循環型のプロジェクトを実施いたしました。そのこども食堂におきましても、たくさんの企業様にご協賛いただき、実施することができました。

地域に寄り添うホームタウン活動

GRULLA SDGs Project

教育	グルージャ塾 学校に選手やスタッフを派遣し、「夢の実現」に向けた講話や自らの経験談などを子供たちに伝えています。またグルージャのみならず、様々な企業や団体様とコラボした出前授業を実施しております。	
環境	ゴミゼロプロジェクト 「スタジアムから出るゴミを少しでも減らしたい」そんな思いからゴミゼロプロジェクトはスタートしました。①試合で出たゴミ⇒②堆肥化する⇒③出来た堆肥をグルージャ米プロジェクトにて使用⇒出来たお米をこども食堂で活用で完全循環を実現。	
スポーツ振興	幼稚園・保育園巡回 岩手県全域での市町村において、保育園・幼稚園巡回を実施。サッカーや体を動かすことの楽しさ、チームプレイの大切さ、スポーツの喜びを伝えております。	
福祉	グルージャこども食堂 スポーツの力、Jクラブの力をつかって、こども食堂を通じた新しい密を地域に共創するプロジェクト「Jリーグみんなのシン・みつ Project」に参加しており、各地のこども食堂やフードパントリーに参加しております。	
地域貢献	夢パス 未来ある子どもたちに、「サッカーを通して多くの夢を与える」ことを活動の主な指針としています。「夢パス」にお申込みいただくと、明治安田生命J3リーグいわてグルージャ盛岡のホームゲーム全14試合のA自由席にご入場いただけます。	
健康	高齢者健康づくり教室 高齢者の運動やスポーツに取り組む機会を拡大するため、高齢者施設やサロンを訪問し、所属選手等による、健康づくり教室を実施しております。	

さらには、岩手県との自殺発生への予防や対策に関する協定や、今まきに行っております雪下ろしを行うスノーバスターズの活動、そして交通事故の無い社会の実現に向け岩手県警との連携協定等も行っておりまいました。

このように色々な企画をして取り組んでまいりましたが、去年はやはりコロナ禍ということもありまして、中止や延期を余儀なくされたイベントもございました。今シーズンはコロナの状況にもよってまいりますが、積極的に活動してまいりたいと思っております。

<p>課題解決 岩手県との協定・三陸鉄道</p> <p>岩手県での自殺発生率が全国ワースト1位となったことから岩手県と自殺対策に対する協定を締結しHOMEゲーム戦での普及啓発、相談支援等の活動を行っています。また三陸鉄道で動物との接触事故が多発している事をうけ、選手とスタッフで侵入を防ぐロープ張りの活動も行いました。</p>		<p>交通 県警との連携</p> <p>岩手県警察本部と「交通事故のない社会の実現に向けた連携協定」を結んでおります。街頭での交通安全の呼びかけや地域の安全・安心のために必要な広報啓発活動を県内各地や試合会場で行ってまいります。</p>	
<p>安全 スノーバスターズ</p> <p>選手・フロントの有志が集まり「グルージャスノーバスターズ」を結成。寒害地帯の高齢者宅を訪問し除雪作業と安否確認を行っております。。</p>		<p>リサイクル 学生服応援ファンド</p> <p>「学生服未来応援ファンド～one support～」プロジェクトに参加しております。Jリーグでは初となるシーズンを通してスタジアムに学生服の回収BOXを設置し貧困問題で入学準備が大変なご家庭への支援につなげています。</p>	
<p>防災 防災体験・防災無線</p> <p>学校を訪問し学生と一緒に、防災に関するクロスゲームや防災食などを作ったりし、日頃から自分たちで出来る事、やるべき事を考え防災について学ぶ場を作っています。また選手による町の防災無線も行っております。</p>		<p>福祉 障がい者への取り組み</p> <p>学校などを訪問し障がい者・シニア体験を行っております。また発達障がい児童向け運動教室も定期的に開催し、チームプレイが苦手な子、運動が苦手な子にスポーツの楽しさを伝えております。</p>	
<p>人権 ブラインドサッカー</p> <p>人権ネットワークさんや宮城県ブラインドサッカーチーム、コルシャ仙台さんなどと連携し、県内の学校を訪問して障がい者体験やブラインドサッカー教室を開催しております。</p>		<p>地域活性 ILC誘致活動</p> <p>ILCを誘致するため岩手県と連携し選手・フロントが定期的に勉強会を開きILCの理解を深めています。スタジアムでもILCのブースを設置し来場者にILCの普及活動を行っています。</p>	

【2022 シーズンの展望 TOP チーム】(菊池利三)

2022 シーズンの目標として、「J2 リーグ 10 位以内」を掲げております。かなりハードルの高い目標かもしれませんが、しっかりと闘っていきたいと思っております。

その目標に向けて、グルージャはどんなサッカーをするのかをご説明していきます。

まずは「To Win」、勝つために何を考えていくのか、「どんな相手でも！」「どんな環境でも！」「どんなメンバーでも！」「どうやったら勝てるのかを考えて闘う」というところを今、しっかりと準備している状況です。

そして、対戦相手のある中で、我々の時間帯・そうではない相手の時間帯などにおいて、苦しくなる時間帯に我々が立ち返るのは「守備」です。グルージャの守備は、相手がボールを持っていても自分たちが主導権を持つことにあります。そして、球際の激しさ・厳しさ、最後まで諦めないアグレッシブな守備をする・組織的な守備をする・悪質なファールはしない・失点に罪悪感を、といった点を統一認識として持つようにしています。

「失点に罪悪感を」という点では、昨シーズン J3 リーグでは、本当にその「1 失点を防ぐ」というところへの意識面での不足が優勝を逃したともいえますので、個人戦術になるかもしれませんが、失点に繋がるようなミスをなくすというところ、そこにしっかりとフォーカスし守備の質を高めていくことをより意識し、取り組んでいます。

そして攻撃においては、「どんな形でも得点できるチーム」を掲げています。グルージャの攻撃について、「相手にボールを持たされるのではなく相手を動かしていく」「相手の嫌な

所をついていく」「ボールホルダーを追い越していくアグレッシブな攻撃」を統一認識として持つようにしています。昨シーズンの J3 リーグで多くの良いゲーム・勝ちに繋がるゲーム・劇的な勝利をしたゲームでは、こうした、ボールホルダーを追い越していくアグレッシブな攻撃も多くみられました。また、昨シーズン多く取り込んだのは「ターン」です。それもターンで前を向いて中盤でバックパス、ではなく、ターンで前を向いてボールを前に・ゴールに・より縦に運んでいくというプレーを多くみられたことが、良い試合・良い結果に繋がったと感じております。ですので、それを継続していくことと、連動した攻撃・数的優位・スペースの共有など、「組織的な攻撃」ができるよう選手間での連携を高めながら今年度は攻撃を仕掛けていきたいと思っています。

他には、「アイディアのある攻撃」にも重点を置いていきます。やはりサッカーですので、相手のゴール前・得点チャンスの瞬間がサッカーの一番の醍醐味だと思います。点を取るために、やはりアイディアのある動き・連動していくというところを突き詰めて、より多くの得点をお見せしたいなと思っています。

また、我々の強みであります「ショートカウンター」「ボールポゼッション」にもしっかりと取り組んでいきたいと考えています。そして「得点へのこだわり」を持つことも大切で、この点は昨シーズン、J3 優勝を逃した要因の 1 つと捉えています。引き分けのゲームで 1 つのチャンスをしっかりと決めることができれば、もう 1 つの 1 勝に繋がったはずで。こういったところに取り組んでいきたいと考えております。

続いて「チームとして個人として大切なもの」として、「結束」「謙虚さ」「競争」を選手たちと共有しています。特に、チーム全員が同じ方向を向く「結束」というところでは、昨シーズンは本当に全員が、選手も TOP 育成スタッフもフロントスタッフもサポーターの皆様も、応援して下さるすべての皆様が、同じ方向を向いていた結果が、昨シーズンの結果だったと思っています。それを継続するとともに、周りの人のサポートがあって自分があるのだという「謙虚さ」を持ち、しっかりと認識して、チームのエンブレムにこの想いを刻んで闘っていききたいと思っています。そしてチーム内でのポジション争い、「競争」というところで、良い選手がピッチに立つという競争原理も続けています。まずはチーム内でのポジション争いに勝つというところを、選手たちには求めています。

そして、「最後まで戦う！」「最後まで諦めない！」「見ていて楽しいサッカーをする！」、そういったところを、サポーターの皆様にはお約束したいと思っています。

次に今シーズンのスタッフについてとなります。

監督、秋田豊。コーチングスタッフでは、テクニカルコーチ、中西健太郎・アスレティックトレーナー、三木谷友彰・トレーナー、遠岳のメンバーが新しく加わっております。

そして次に選手についてとなります。新加入選手として 16 名を迎え、2022 シーズンは

37名で闘ってまいります。新体制発表会でも発表させていただきましたが、まずは簡単に新加入選手の紹介をしてみたいと思います。

<戸根一誓>

ビルドアップ能力を兼ね備え、空中戦も強い選手です。昨シーズン、我々の強みであるセットプレーへの補強ポイントとして挙げております。

<甲斐健太郎>

パワフルで高さのあるディフェンダーでパスの供給もでき、ハードワーク・ハードマークが得意な選手だと思います。

<小松駿太>

ボランチです。アンカーのところでも、ボールを持てる・パス出しもできる、そういったところの特長を持った選手です。

<稲葉重我志>

トライアウトを経由して入ってきた選手で、シュートストップを武器として持っています。

<奥山洋平>

大阪で行われたトライアウトで合格しました。特長とすれば、抜群のスピードを期待して見ていてもらいたいと思います。ビスマルクのスピードも魅力ですが、奥山のスピードはまた違った特長を持つ選手ですので、楽しみにしていただけたいと思います。

<キムジョンミン>

新外国人選手です。まだチームに合流はできておりませんが、日本での競技経験があって、選手たちとのコミュニケーションも十分にできます。いち早くチームに合流して両足のシュート力やシュートセンスがあるところも含めて、しっかりと戦術的なところもフィットさせて、早くゲームに絡ませたいと思っています。

<チャンヒョンス>

まだ入国できていませんが、攻撃的なミッドフィルダーで、アタッカーのところではどこでもこなせる選手です。チャンスメイク・フィニッシュを持ち味にしている、韓国人選手の独特のキレのあるプレーといいますか、そういったところをお見せできると思っています。

<阿部伸行>

今季、土井康平・鈴木智幸が引退した中で、かなり経験豊富な選手です。この選手が我々の GK 陣にも新しい空気といいますか、競争意識をもたらしてくれるものと確信しております。

<上笹貫剣>

積極的にシュートを狙っていく面白い選手ですので、早く試合に絡ませたいと思っております。

<弓削翼>

日体大より加入した選手です。この選手はボランチの選手ですが、ボールの配給・ポジションニングが良く、常に周りを見て、相手のチャンスや攻撃の芽を摘めるのが彼の特長です。ボランチでありながら、ゲームのバランスを取っていける選手です。

<深川大輔>

センターバックで日体大から入りました。足元の技術やビルドアップ能力に長けていて、そういったところではまた違ったセンターバックがまた 1 人加わったかなと思っております。

<南拓都>

マリノスからレンタルしてきた選手です。まだ若いですが、彼の特長であります抜群のスピードという、ビスマルクのスピード・奥山のスピードともまた違ったスピードがあります。キャンプでジュビロ磐田とトレーニングマッチを行い、結果は振るいませんでしたが、J1 選手相手に彼のスピードは通用していたように思います。

<鈴木魁人>

フォワードで、今季 J2 で得点能力を発揮してほしい選手です。左利きでの正確なプレーと決定力のあるパワフルなシュートを見せてほしいと思っております。

<桐蒼太>

立教大から加入しました。小柄ではありますが、クイックネスを活かしたキレのあるドリブルで突破していくところが魅力です。得点能力もあり、シュート力も兼ね備えている選手です。また運動量も豊富で、中盤で相手をひっかきまわしてくれると感じております。

<斉藤諒>

ハードマークといいますか、守備のところでは、秋田監督ほどではありませんが、ハードマークできる・ハードワークする選手だと捉えています。

<中村充孝>

日本でもかなり有数の技巧派でチャンスメーカーだと感じております。昨シーズンとその前と、怪我に苦しむ期間も多く、本人としても不本意なシーズンを過ごしてきたと思います。ただ、今年度に懸ける彼のやる気・闘争心というものをピッチの上で表現してくれれば、我々の攻撃・我々の勝利に大きな影響力をもたらす、技巧派のチャンスメーカーだと感じております。

ここからは少しキャンプでの様子についてとなります。スタートの宮崎キャンプでは、だいぶウォーミングアップからリラックスして良い雰囲気の中でトレーニングできたと思っています。グラウンドピッチコンディションもとてもよく、綾町の方々にも本当に親切・丁寧歓迎していただいて、選手たちは良い準備ができたと思っています。



【2022 シーズンの展望 アカデミー】(中村 学)

続きまして、育成部を代表しまして、中村よりご報告させていただきます。まずは 2022 年いわてグルージャ盛岡アカデミーの組織図となります。水色で記載しておりますのが新任スタッフとなります。

U-18 監督、柿沼昭宏。カマタマーレ讃岐の U-18 コーチを歴任しました。

U-15 ジュニアユース年代のコーチ、堀江哲弘。昨シーズンまで JFL のラインメール青森のアカデミーダイレクターを兼任されたスタッフです。

U-15 GK コーチ、鈴木智幸。昨シーズンまでいわてグルージャ盛岡 TOP チームの GK 選

手を引退し、GK コーチに就任いたしました。

U-12 コーチ、銭谷尠長。東京ヴェルディのサッカースクールのコーチを歴任しました。昨シーズンまでユース年代の監督とアカデミーダイレクターを兼任しておりました本間圭が、アカデミーダイレクターとして就任することとなりました。主に、アカデミーのフィロソフィーやコーチングフィロソフィー、そして昨シーズンからJリーグで進めておりますプロジェクト DNA のタスクをしっかりと担って、充実したアカデミーとなるよう、責任をもって進めてまいります。

2022年いわてグルージャ盛岡アカデミー組織図



続きまして、スクール・普及部の組織図となります。引き続き、スクールマスターが塩野良太です。新任スタッフとしては板垣大夢がジャパンサッカーカレッジを卒業し、今シーズンからスクールコーチに就任しました。また、他のスクールコーチについても、引き続き佐藤・大坪・小泉が務めてまいります。大坪・小泉については、私どものアカデミーの出身者となり、精一杯・一生懸命頑張っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

2022年いわてグルージャ盛岡スクール組織図



続きまして、主要な大会についてとなります。

振り返りの際にもご説明をさせていただきましたが、主にユースチームについては「Jユースリーグ」「U-18 i.LEAGUE」「クラブユースサッカー選手権大会」となります。

そして、2022 シーズンより、「J エリートリーグ」という、TOP チームの若い選手を中心とするリーグ戦にも、選手として参加する方向でおりますので、こちらも強化を進めてまいります。

ジュニアユース年代でも、多くリーグ戦に参加する予定です。こちらも蓮見監督が中心となり、「みちのくリーグ U-15」「ポラリスリーグ U-14」「みちのくリーグ U-13」、その中で全国大会へ繋がっていきます「全日本クラブユースサッカー選手権岩手県大会」では、是が非でも東北大会に参加できるようにチャレンジしてまいりたいと思います。そして「U-15 高円宮杯東北プレーオフ」にも参戦する予定となっておりますので、1つでも多く勝ち星を揚げ、勝ち進められるように精進していきたくと思います。

最後に、ジュニア年代では今年度の大会「バーモントカップ」の予選が既に進んでおります。2月に県大会が行われる予定でしたが、コロナの影響で延期となっております。また、「U-10 MORITEN リーグ」「岩手県トップリーグ」を主に主要な大会として出場します。そして「スポーツ少年団大会(スタンダード杯)」、そして最も大きな大会である「全日本U-12 サッカー選手権大会岩手県大会」がございます。こちらも決勝に過去4度進んでおりますが、まだ一度も優勝したことが無い大会ですので、今シーズンより就任しました本田新監督をはじめ、多くのスタッフが優勝を目標として頑張っていきたいと思っております。

続きまして、昨シーズンのサポーターズカンファレンスでもお話させていただきましたが、アカデミーフィロソフィー3項目についてご説明させていただきます。アカデミーフィロソフィー3項目について、今回新たにエビデンスについて細かく設定をいたしました。まず1項目目となる「岩手県民が岩手県を、そしていわてグルージャ盛岡を誇りに思うフットボールスタイルの展開」。このフットボールスタイルの展開とは何かという点ですが、まずはTOPチームが掲げているサッカーに対して、「私たちいわてグルージャ盛岡アカデミーのプレーモデルを確立し、ピッチで最高のパフォーマンスを表現することで、皆様と共に夢と感動と興奮を共有できることを目指す」というところにあります。これは選手だけではなくアカデミースタッフ、そしてスクールスタッフともしっかりと共有していきます。

次に2項目目として、私たちの目標でもあります、「TOPチームで活躍する選手の輩出」。いわてグルージャ盛岡の下部組織として、この点はきっちりと実現させていきたいと考えておりますが、その中でどのようにしていかなければならないのかについて、「プロの世界で活躍できる人材を発掘し、サッカーの技術・戦術・フィジカル・メンタルで自分の武器を持った選手を育成する」というところにあります。こちら、選手だけが一生懸命やるのではなく、どのようにすれば選手一人ひとりが活躍できるのか、技術を持てるのか、そして誰にも負けない武器を持った選手を育成できるのかを常に考え、日々のピッチ上のトレーニングだけではなく日々の生活の中からも、洗いざらいフレッシュバックしながら取り組んでいきたいと思っております。

最後の3項目目として、「体現化する選手の育成」。こちら、「いわてグルージャ盛岡アカデミーのプレーモデルを体現化する選手の育成とコーチの指導スキル向上を図る。プレーモデルの本質を理解し、意図のあるトレーニング・ゲームを実施する」というところを目指していきます。こちらは、先ほどご説明させていただきましたプロジェクトDNAの中にも「IDP（選手個別育成プラン）」というものがございまして。そちらの方も、本間ダイレクターと蓮見ヘッドオブコーチングとが中心となってアカデミーのプレーモデルを確立し、それをアカデミースタッフでしっかりと共有していきながら、体現していく選手を育成し、目標に近づけられるように、監督・コーチ・選手が一体となって、一岩となって進めてまいりたいと考えております。

【2022シーズンの展望 フロント】（坂本達朗）

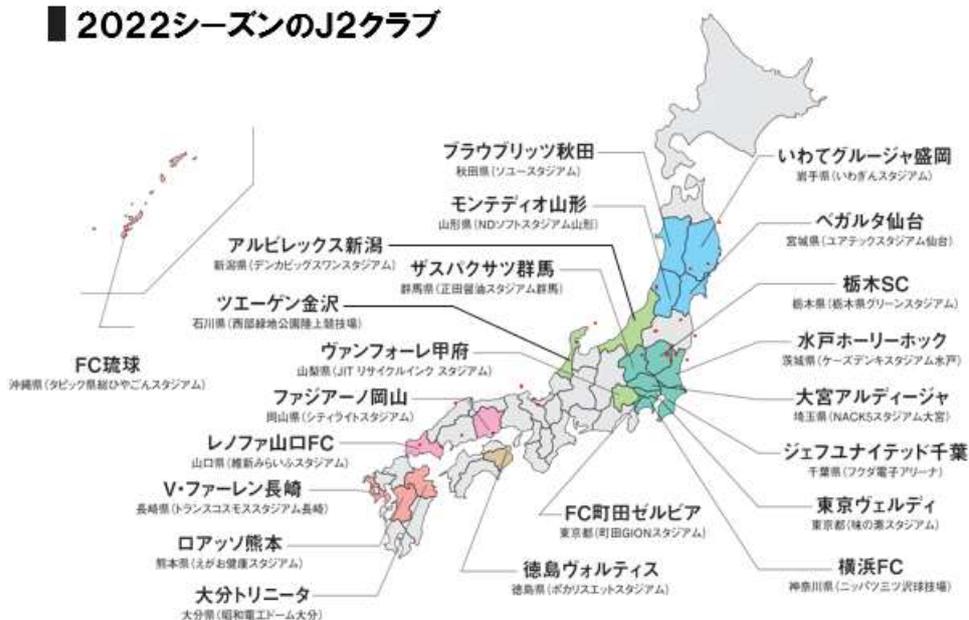
2022シーズンのJ2クラブには、「いわてグルージャ盛岡」「ブラウブリッツ秋田」「モンテディオ山形」「ベガルタ仙台」と、東北地方の4チームが所属しております。現在、秋田・山形との3チームで、お客様に対するイベント開催に関して共同で企画を練っているところです。

また、関東圏では「栃木SC」「水戸ホーリーホック」「大宮アルディージャ」「ジェフユナ

「ジェフユナイテッド千葉」「東京ヴェルディ」「横浜FC」と、強豪チームも揃っております。盛岡から東京まで新幹線で2時間ですので、たくさんのお客さまの方に来ていただけるのではないかと期待しております。

他、九州圏でも「大分トリニータ」は昨年の天皇杯で決勝までいったチームですので、注目の対戦になると共に、たくさんのお客さまの方に来ていただけるのではないかと期待しております。

2022シーズンのJ2クラブ



続きまして、今シーズンの予定となります。

2月19日(土)19時からフクダ電子スタジアムにおきまして、ジェフユナイテッド千葉とのアウェイでの開幕戦となります。開幕から4試合アウェイで闘い、ホーム開幕戦は3月20日(日)14時から栃木SC戦となります。試合会場未定となっております。3月7日の発表予定でございますので今しばらくお待ちください。

また、今シーズンは22チームでJ2リーグを闘い、ホーム&アウェイで42試合となっております。

そのシーズン中には天皇杯がございます。

そして今シーズン新たに、Jリーグの「エリートリーグ」に参加することとなりまして、こちらも5チームでリーグを組んでおり、4チームとホーム&アウェイで行われる予定となっております。

続きまして、今シーズンのユニフォームサプライヤーについて、副社長の中村よりご説明をさせていただきます。

からたくさんのご要望をいただきました「選手選択ができるグッズ」や、今シーズンより新しくサプライヤーになりました「KELME 関連のグッズ」を受注形式で販売開始しております。

現在までのところでユニフォームをはじめとして発売した商品はのきなみ 2 倍以上の多くのご注文をいただいております、J2 昇格による注目度の高さを実感しております。まもなく始まるホーム戦では毎試合限定の商品も企画しております、現在準備を進めておりますので、是非ホーム戦に足を運んでいただければと思います。また、昨シーズンの反省を踏まえまして、ユニフォームをはじめとして発売時期を早めることで、必要な時期に商品を皆様にお届けできるよう企画しております。リリース前にはなりますが、明日もオンラインストアで開幕グッズの第 2 弾の発売も予定しておりますので、是非ご注目ください。以上となります。ありがとうございました。

【事前質問に対する回答】

TOP チーム、アカデミー、フロントの順で抜粋し回答させていただきます。

<強化> (菊池利三)

・背番号について、時代が変わったのかもしれませんが 1~11 番までのレギュラー番号が空白が多いのはなぜか？ 個人的にやはりエース番号 10 番は特別で 10 番を背負う選手が居れば 10 番のユニフォームを買いたいと思ってる私のような人間が少なからずいると思うので選手が希望しなくても有望株の若手に着けさせるなど埋めるべき番号では？ 商業的にも 10 番は魅力なはずでは？

→私が現役時代の頃は、ルール化されていたのは事実です。1 番から 11 番までの選手がピッチに立つというルールが確かにありましたが、歴史を重ねていくうちに、選手たちも自分の背番号に愛着が出てきて、番号にこだわりを持つ選手が多くなりました。そういった経緯からも、1~11 番にも空白ナンバーがある現状です。個人的には特別なエース番号 10 番を背負う選手を置きたい気持ちもありますが、チームとしてもそれが補強ポイントとも捉えております。10 番にふさわしい選手をチームに入れられるよう、スカウティングも含めて努めていきたいと考えております。まずは試合会場に足を運んでいただき、ピッチの上とスタンドとで、より多くの方々に選手たちと同じデザインのユニフォームを着て、同じ方向を向いて、闘っていただけたら幸いです。

・今シーズン、グルージャにホームグロウン選手は居ないが、ホームグロウン制度についてどのような考えを持っており、今後どうしていきたいのかを聞きたい。

→アカデミーとの強化体制を密にし、連携してよい選手の発掘・育成に努めてまいりたいと思っております。

・岩手県出身の選手がチームにいないのを寂しく感じます。現時点ではついに 0 人となりました。この現状をクラブはどうお考えですか。

→岩手県の現状というところで、育成年代の選手たちが県外に流出してしまうことが、岩手県の課題ではないかと感じています。そういった良い選手たちが県内に残ってくれるように、我々としても魅力あるチーム・我々を選んでいただけるようなチーム作りが必要だと感じています。これからも引き続き、岩手県出身者を 1 人でも多く TOP チームに入れられるよう、頑張っていきたいと思います。

・ホームグロウン枠についての考えをお聞かせください。今期取らないと、おそらく来期 A 契約枠が減ることになるのですが、いくら今は若手が多いにしろ今後は絶対に厳しくなると思いますので。

→ルールとして A 契約の枠が削られるというところは現実としてございます。しかしながら現状、我々のクラブとして A 契約選手がそこまで多く存在しておりません。だからといって安心していただけるわけではありませんが、今のところビスマルク選手・オタポー選手をはじめ、今アカデミーに在籍している選手や、今大学で実績を積んでいるアカデミー出身選手がホームグロウン制度の対象選手になってきます。今年・来年に関してはルールに即して埋めることは難しいものの、2~3 年後にはチームの戦力となるホームグロウン制度対象の選手を揃えることができるのではないかと考えております。

<アカデミー> (中村 学)

・今シーズンのジュニア→ジュニアユース、ジュニアユース→ユースの昇格状況は？人数または割合でもいいので教えてほしい。また、県外からの加入内定状況もあわせて教えてほしい。

→まずはジュニアからジュニアユースへの昇格人数は今現在で 9 名の昇格が確定しております。その他に、ジュニア年代で外部から 7~8 名、合計で 17~18 名で新 U-13 の活動をスタートいたします。

続きまして、ジュニアユースからユースへの昇格につきまして、毎年課題となっておりますが、人数は今現在で 3 名の昇格が確定しております。また、県外からの加入内定状況について、基本的にはスカウト部門で全国スカウトさせていただき、5 名の選手が県外から加入内定・確定をさせていただきました。その他に 2 名が釜石から獲得できましたので、合計 14 名の選手で U-16 の活動を行ってまいります。

・アカデミーの監督がコロコロ変わるの良くない。一時的に結果が出なくても、長いスパンで継続して同じ監督に指導させるべきではないか？ 選手や保護者から見ても指導者がコロコロ変わるチームには入りたくないと思う。

→ご指摘いただいている通りと思います。こちらについても私どもでしっかりと受け止め、魅力あるクラブ・魅力あるアカデミー、そして今シーズンから TOP チームが J2 に昇格したということで、私たちも TOP チームに負けないチーム作りをしっかりとこの 1 年の土台作りとして進めていければと考えております。

- ・毎年言ってることですが、そろそろ結果がほしいです。隣の秋田は U18 がついに東北プリンスに昇格しました。我々は強化どころか県一部ですら勝てない状況で、ユースからトップに昇格した選手も清水選手が退団になったので 0 名になってしまいました。J2 に上がったことでクラブ価値が上がるので スカウトなり内部昇格なり頑張してほしい。今後どう強化していくのか聞きたい。

→先ほどご説明させていただきましたが、まずは私どもの方で一貫としたアカデミーフィロソフィーの体現をしっかりとしていくということと、最も大切な「スカウト」の面では、本間ダイレクターが今年ヘッドオブスカウトという役割も担うこととなり、全国各地・県内の U-12・U-15 の年代のスカウトをしっかりと行ってまいります。そのようにして、私たちが目指している選手像に近い選手たちを獲得し、育成し、そして TOP チームに輩出していくフローを構築していきたいと考えております。スタッフ一人ひとりが危機感を持ち、今後の活動の中で、結果にコミットしていかなければならないことを、全スタッフが共通認識として持たなければならないと思いますので、県内外のスカウトに関しても本間ダイレクターを中心に進め、しっかりと強化していきたいと思っております。

- ・それから、アカデミーのユニフォームデザインが少し違うようですがトップチームと統一してほしい。トップと同じユニフォームを着ていると言うことでグルージャのアカデミーとして戦っていることが誇りになると思いますし、ジュニアからトップまでの一貫指導の象徴ではないでしょうか？（アカデミー用のユニフォームスポンサー導入は賛成）

→誠にありがとうございます。ご指摘いただきましたユニフォームデザインについては、クラブの判断となりますが、デザインが違っても同じエンブレムを付けているという誇りと情熱は変わりありません。TOP チームと同様に応援していただければ幸いですし、多くのスポンサー企業様もアカデミーユニフォームにご協賛を賜っておりますので、そういった企業様のためにも、一岩となって結果にコミットし、皆様に朗報と届けていきたいと思っております。引き続きよろしく願いいたします。

<フロント／スポンサー>（中村文哉）

- ・ユニフォームスポンサーはこれで出尽くしと思ってよいでしょうか
- ・J2 に昇格したにも関わらずユニフォームスポンサーが減っているのは寂しい。
今後シーズン途中に増える見込みはあるか。

→まず結論としましては、減ってはおらず出尽くしてもおりません。J2 昇格によりメディ

ア媒体に取り上げられる機会も増え、広告価値も上がってきたのではないかと思っております。現在いわてグルージャ盛岡はスポンサー企業様からの協賛に頼っている現状でもございます。チーム強化はもちろんのこと、後ほど回答させていただきますが、スタジアム建設・クラブハウス整備等、今まで以上の予算を確保していかなければなりません。そういったところからも、例年よりもユニフォームスポンサーとしての広告掲載料を上げざるを得ず、その決定の上で、昇格から約 2 か月間のこの間に決めきることができませんでした。ここはフロントとしてスピード感に対応しきれなかったことが原因だと思っております。できれば開幕戦までに・遅くともシーズン途中であってもユニフォームスポンサーの空き箇所は埋めていきたいと考えておりますし、交渉中の企業様もいらっしゃいますので、今までご縁をいただきましたスポンサー企業様との繋がりや変わらぬご支援をいただいておりますスポンサー企業様も大切にしながら、真摯に活動を行ってまいります。

<フロント／スタジアム> (中村文哉)

- ・本当にスタジアム作ってもらえる気はありますか??あくまでもお願いしてる立場なのに、なんか駅前とか変にこだわって夢ばかり言ったり、態度が上からだったりな人達が多すぎます。岩手県自体人口が減ったりしてる中、お金は無限じゃないんです。現状で理解と言っても受け入れてくれる訳はないですよ。アウェイ客のためと言いますが、そもそもホーム客を増やさないと（前年は平均超えてないですよ。）ですし、利点は予測だけの曖昧です。もっと納得要素、現実をみて早急に考えるべきことだと思うんですが…
- ・J2 に昇格したことにより、今後数年以内にスタジアムの整備または新スタジアムの建設計画を出さないと J2 ライセンスが剥奪され J3 に降格する事についてですが、テレビ局の取材で計画が白紙のままとなっている現状が放送されました。そろそろクラブ主体で積極的に動き始めないと昇格した意味がなくなります。何故ここまで進んでいないのか説明をお願いします。
- ・新スタジアム建設をプラン A として目指すのは良いと思いますが、新たな維持管理費(借地料含む)を伴う 100 億円規模の箱物の建設について、3 年以内に行政に約束してもらうのは難しいようにも感じます。行政もギリギリ負担可能なプラン B、たとえば 40 億円くらいでいわぎんスタジアムの最低限の改修をする案などは検討の俎上には乗せないのでしょうか?(町田 GION スタジアムは 35 億で 5000 席増設してます)
- ・スタジアムについて、グルージャ盛岡は、将来的にどのようなスタジアムを考えているのでしょうか? 例えば、柏レイソルの柏スタジアムや横浜 FC のニッパツ三ツ沢球技場の

様にピッチに近く選手目線に近いスタジアムなのか、ベガルタ仙台のユアテックスタジアムやジェフ千葉のフクダ電子アリーナの様にとどの席からでも試合が見やすいスタジアムなのかを聞きたいです。

・ここまで厳しく書きましたが、J2に上がったことには本当に感謝しています。スタジアム問題も含め解決すべき問題も多々あると思いますが応援しています。スタジアムの署名活動を行う予定はございますか。

・そもそもまず今後もクラブ存続させたいなら、クラブハウス作ってあげてください。これは早急にでも可能だとは思いますがどうですか??

→総じて回答させていただきます。まずはスタジアム建設に関しまして、様々な憶測を呼んでおり、非常にもどかしい想いをサポーターの皆様・県民の皆様・各関係者の皆様にさせてしまっており、大変申し訳ございません。現状、実現に向け関係各所へ積極的に動いておりますものの、様々な状況・各立場から、「いつ」「どこに」「誰が」「どのような費用分担で」「どのようなスタジアム」を等、確定的な内容は、大変申し訳ございませんが、現段階で公表することができません。非常にデリケートな内容でもございますので、ある日を境に、スタジアム構想に関しましては、テレビ・新聞・雑誌等、メディアの取材を全てお断りさせていただいております。ただ、ご質問の中にもございました通り、「3年以内に計画書を提出しなければならない」ことは事実です。皆様を落胆させないためにも、まずはしっかりと前準備を整えていきたいと思っております。岩手の皆様と共に、岩手のためになるようなスタジアム建設を進めていきたいと思っております。クラブとしても何としてでも実現させる方向で動いていきますので、ご理解のほどをよろしくお願い申し上げます。

そしてクラブハウスにつきましては、現在既に整備に向けて数か所の候補地の中から選定および話し合いを行っております。クラブハウスの整備に関しましては、今シーズンの最重要課題として取り組んでおりまして、近いうちに良いご報告ができるように精一杯動いていきたいと思っております。

<フロント／ホームタウン活動> (坂本達朗)

・自治体連携応援プロジェクト (GLP) について伺います。

GLP は昨年のサポーターズカンファレンスの中で大幅に時間を割いて、その説明が行われました。GLP の 2021 シーズン実績や達成度・進捗度、改善点、自治体や団体、企業等からの反応など、1年間の総括をお聞かせください。特に、選手に各自治体の PR 隊員に任命した活動は、表へ出てくる情報で判断する限り、活動内容や頻度にかなり差があるように思います。このタイミングでの総括が必要だと思えます。

- ・GLPとは別に、ホームタウン担当のTwitter（現在は停止）のみで発信されたキーワードとして「いわてスペシャル9」があります。「いわてスペシャル9」のクラブにおける位置づけおよび今後の方向性についてお聞かせください。

→ホームタウン活動についてですが、先ほどのスライドの中でもご紹介させていただきました。多数のイベントを企画し実行しておりましたが、コロナの影響で実施・参加予定であったイベントが軒並み中止・延期になっている状況でございます。その中でも今シーズン、盛岡市周辺のみならず、沿岸部・南部・北部など、幅広いところで活動を行っていきたいと思っております。「いわてスペシャル9」についても改めて取り組んでまいります。

<フロント／広報>（坂本達朗）

- ・ホームゲームを含むイベント等に関する発表のタイミングが遅い／発信の強度が低いと感じることがあります（たとえば、ホームゲーム情報は1週間前にはまず出ていないし、待機列や来場者プレゼントなど、あとから決まった情報に関する発信がSNSのみだとか）。こうしたクラブの情報発信について、クラブの現状認識、および今後の方向性をお聞かせください。
- ・街中におけるグルージャの露出が少ないと感じます（例えば、盛岡市大通りでは目に入る限りで幟が数本。盛岡駅には自由通路にポスターが一枚）。またクラブの認知度もまだまだ"伸びしろ"があると思います（2019年の盛岡シティマラソンをグルージャのユニフォームを着て走りましたが、受ける声援のほとんどは当時の胸スポンサー「パルコホーム」でした）。クラブのホームタウンにおけるプロモーション、ブランディング、リレーション等について、クラブの現状認識もしくは分析、今後の取り組みの方向性をお聞かせください。
- ・今シーズンはJ2で戦うのですが何より知名度も重要になってきます。YouTubeなどでただ試合のハイライトを公開するだけではなく、練習の裏側などTwitterなどのSNSを積極的に活用したら知名度も上がるのですがどのように考えているのか具体的な回答をお願いします。
- ・リリース関連、SNSは専門スタッフによるものでしょうか。そうでないなら、戦略として専門として取り組んでほしい。
- ・ホームゲームの告知が他チームに比べ遅いと思います。試合2日前の告知もあったと思います。これだけ遅い理由はあるのでしょうか。

- ・リリース関係をする時に、脱字や記載事項の載せ忘れ、時間ズレなどのミスが多いのでしっかり確認してから発表してください。後、J公式とグルージャ公式でポジションや身長とかのデータにズレがいくつか見受けられますので、しっかり統一してください。

- ・新体制発表会についてですが、今年はInstagramでの配信となる公式のリリースがありました。去年はYouTubeの配信でしたが全く話の内容が入ってきませんでした。今年は環境の改善などサポーターが納得できるような配信になるのでしょうか？

- ・もう少しピッチ外などでの選手たちの声や写真などを増やしてほしい！

→今シーズンより広報担当としてスタッフの補強を行いました。これまで数々、告知の漏れや発表の遅さなどございましたが、何とかそういった部分を改善できるように、新しいスタッフで取り組んでまいりたいと思っております。

そしてまたチェック体制も再考し、入念に対応してまいりたいと思います。

クラブとしてYouTubeの活用なども広報部門で大きな課題と捉えており、オンラインイベントは基本的にYouTubeを活用し対応できるように改善を進めてまいります。今季、新しい広報スタッフとともに、しっかりと取り組んでまいりたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

<フロント／ホームゲーム運営> (坂本達朗)

- ・開催されるかはまだわかりませんが、今シーズンも北上での公式戦開催はあるのでしょうか？ なかなかいわぎんスタジアムに來れないサポーターもいます。ぜひご検討頂けますと幸いです。

→北上での開催も予定しております。いわぎんスタジアムも改修工事中ということもありますので、北上でも数試合、行う予定にはしております。

- ・子どもがスクールでお世話になっております。TOPチームの試合観戦を親子でする際、会場でのチケットインをスムーズにして頂きたい。例えば、紙で良いので年度を刻印した会員証を作り子どもに渡す。各自に記名してもらい、入場時提示、入場者数は検温と共にカウントする。

→今季より、保護者様のご来場につきましては、ご招待の形式をとらないこととなりました。誠に申し訳ございませんが、ご了承のほどをよろしくお願いいたします。

グルージャ所属のお子様につきましては、引き続きA席のご招待とさせていただきますが、保護者の皆様におかれましてはチケットのご購入をお願いいたします。

- ・天皇杯清水戦や、ホーム富山戦など、普段スタジアムに來る機会の少ない方を含む大勢の

方が来場した試合では、来場者案内や動線、安全確保（感染症対策含む）で、普段では認識されていなかった問題点も多数見られたのではないかと思います。J2 昇格により注目度も上がり、ビジターのファンも含め、同様に多数の来場が見込まれることと考えます。試合運営の問題点および今後の改善点について、クラブの現状分析および今シーズンの方向性をお聞かせください。

→昨シーズンも来場者数の多かった試合、特に後半戦になりますが、入場時等で待機列が大変長くなり、ご迷惑をおかけしております。今シーズン J2 リーグに昇格したことによる来場者数の増加も踏まえて、入場口・待機列等、計画を現在立てているところでございます。皆様になるべくご不便をおかけしない運営に努めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

・ホーム開幕戦含む、4月までのホーム4試合が開場未定として発表されたことには、いわぎんスタジアムにおける大規模改修工事が影響しているものと推察いたしますが、序盤の試合の会場が未定のまま発表されたことは非常に遺憾なことで受け止めております。本件工事に関して、盛岡市と事前にいつ、どのような調整を行ったのか、お話しできる範囲内でお聞かせください。

→こちらも大変ご迷惑をおかけしております。盛岡市とは昨年から工事については打合せを行ってございまして、現在のところ4月末まで工事がかかる予定となっております。そのため4月までのホームゲーム4試合におきましては、北上の方と打ち合わせをしておりますが、まだ発表できる段階ではなく、公にできないことを申し訳なく思っております。ただ、3月7日には公式に発表いたしますので、それまでお待ちいただけたらと存じます。

・スタジアムまでのシャトルバスの時間について。盛岡にしろ北上にしろ駅から発車するのに新幹線や電車の到着時刻に全く配慮していない。特に今年の北上開催では東京方面からの新幹線到着時刻の5分前にバスが行ってしまう。次のバスまで1時間弱。北上駅前では時間をつぶす所もない。これは改善していかなければなりません。今年からJ2に昇格し、アウェイ客も今までにないくらい大勢の方が来られると予想されます。バスの増発と合わせて改善必須です。

・北上駅からのシャトルバスの出発時刻は、東京方面からの新幹線や盛岡からの在来線に接続できる設定にして欲しい

→こちらも今後、アウェイサポーターの皆様の来場が多く見込まれる分、新幹線のダイヤとの連動は必須として、現在クラブ運営担当とバス会社とで連携し、打合せを行っている最中のございます。いわぎんスタジアムにおきましても、シャトルバスの本数や経由地点なども全体的に調整し、ホームゲームのイベントも含めまして随時リリースをさせていた

だきたいと思っております。

・チケットは QR になるんでしょうか J リーグの他クラブはほぼどこも QR になっていますが

→今シーズン QR 化させることはできませんでしたが、来シーズンから QR での入場対応への切り替えを予定しております。

<商品> (勝田麻記子)

・選手の個別グッズをランダムじゃなく（ここ重要！！）色々作ってください。（流行りのアクリルスタンド、野球のような個別タオルなどを希望です。） 2021 の後半からファンになりましたが、ランダムのもかユニホームしかなくて推しのグッズが欲しいのにすごく困りました。切実にお願ひ致します。

→先ほども申し上げました通り、2022 シーズンは選手個別の選択ができるグッズを増やしてまいりますので、新商品のリリースを随時チェックいただけたらと思います。一方で選手グッズのシークレット形式での販売というのは多くの方が手に入れやすい価格帯の実現というところのためには必要な販売形式となりますので、両方をお楽しみいただけるように種類を増やしてまいりたいと思っております。

・あちらこちらでキズールが話題になってます。このチャンスを生かして、今年はアウェイでブースを頂いてグッズを売りまくるべきです。グッズももっと身近なもので種類を増やす検討をお願い致します。

→ご意見いただきましてありがとうございます。おっしゃる通り、J2 はアウェイの需要がかなり高まりますので、新商品の検討をしつつ、既存のキズールグッズも改めてプッシュしていきたいと思ひます。

・グッズの種類は増やされますか？

→昨年よりも種類を増やしてまいりますので、随時新商品のリリースを随時チェックいただけたらと思ひます。

・選手別グッズ等は提案されていますか？

→第1弾として2月4日から全選手対応のアイテムをリリースさせていただきました。明日のリリースもご致しますので、順次追加していきたいと思ひますので、追加リリースを随時チェックいただけたらと思ひます。

・レプリカユニ、GK モデルの作成予定ありますか？

→レプリカユニフォームの GK モデルについてはこれまでの販売数を加味しますと生産の

最低ロットに満たないため作成は予定しておりません。代わりに既に販売しましたが今シーズンはオーセンティックのユニフォームで GK モデルの受注販売をしておりますので、そちらをご確認ください。

- ・公式フォトを今期もやってほしいです。ただし、ホームだけではなくアウェイこそ欲しいですし(2021の沼津がなかったのは残念すぎでした……)、企画物(スーツや浴衣など)、オフショット、練習中のなども希望です。(大卒組8人とかも需要あると思うんですが……)

→公式フォトのグリージャフォトについては、今シーズンも継続を予定しております。アウェイのフォトについては、撮影者がクラブオフィシャルのカメラマンではなく、アウェイのカメラマンであったり、Jリーグのカメラマンからの資料写真であったりしたため、去年は権利の関係で販売ができませんでした。そういった経緯からも、現状としては利用者がまだまだ少なく、まずはクラブに既にある素材を活用し利用者を増やしていくことが課題だと考えております。改善の上で、順調に利用が増えていけば、コストをかけた企画物などにも新たにチャレンジしていければと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

<フロント/その他> (坂本達朗)

- ・2022年度はクラブへの均等配分金が昨年度の5倍近くに増えます。このような資金は具体的にどのように使われるのでしょうか

→具体的な金額までは申し上げられませんが、J2に上がったことによりチームの人件費・試合運営経費などが上昇しております。また、先ほどございましたスタジアム建設・クラブハウス整備といった重点課題への対応のため、資金が必要となっております。これらの資金として、均等配分金を使わせていただきたいと考えております。

- ・稲吉会長を天皇杯清水戦で拝見した。短い時間ながら、グッズ売り場の動線の改善を指摘しており、経営者目線での参画に感激した。普段稲吉会長といわてアスリートクラブの間ではどのような連携が行われているのか知りたい。

→代表取締役オーナーの稲吉とは常日頃から電話・Zoom会議・メール・LINEにて連絡を取り合っておりまして、こちらから報告連絡相談を行い、その都度指示を仰いでおります。また、重点課題につきましては、盛岡・東京で実際に直接会って対面で会議をしております。常に連絡を取り合っており、私どもの代表取締役でもございますので、常に意見交換をしております。

質問と回答については以上となります。

以上を持ちまして、サポーターズカンファレンスを終了させていただきます。

なお、冒頭のご説明から重ねてとなりますが、今回の内容については本会終了後に議事録にて公開をいたしますが、情報の取り扱いには十分ご留意くださいますよう、お願い申し上げます。

また、メディア様等で、本情報の転載や展開をご希望の方におかれましては、必ず弊クラブ広報担当へ事前のご連絡をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

本日はお忙しいところご視聴いただき、誠にありがとうございました。

今後ともいわてグルージャ盛岡を何卒宜しくお願い申し上げます。